

2021 年度 教員免許状更新講習

募集要項

帝京大学 八王子キャンパス
帝京大学短期大学

目次

<u>I. 講習の概要</u>	1
・開講日程	
・開講場所	
・受講対象者	
・受講料	
・開講講習	
<u>II. 受講申込み</u>	3
・受講までの流れ	
・受講申込方法	
・受講キャンセル	
<u>III. 履修認定</u>	5
<u>IV. 講習詳細</u>	6
<u>V. その他</u>	9
・本学へのアクセス	

2021年度 帝京大学・帝京大学短期大学 教員免許状更新講習 募集要項

I. 講習の概要

【開講日程】 2021年8月18日（水）、19日（木）、20日（金）

【開講場所】 帝京大学八王子キャンパス・帝京大学短期大学
（〒192-0395 東京都八王子市大塚 359）

【受講対象者】

修了確認期限は、以下のサイトよりご確認ください。

■文部科学省 教員免許更新制 修了期限をチェック

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

■教員免許状の有効期間確認ツールについて～更新時期確認の御参考に～

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm

※受講資格等に関するご質問は、文部科学省または各都道府県教育委員会までお問い合わせください。

※身体に障害を有する方が受講を希望される場合には、お申し込み前に本学までお電話でお問い合わせください。

※上記開講日程は、本講習募集時における日程となります。今後の新型コロナウイルス感染症等の拡大状況により、開講日程に変更や中止が生じる可能性がありますので、ご注意ください。

【受講料】 1講習（6時間）： 6,000円 ※別途、教材費を徴収することがあります。

[例] 3講習（18時間）を本学で受講した場合：1講習 6,000円×3＝18,000円

※ 帝京大学・帝京大学短期大学の卒業生および本学グループ校（幼・小・中・高）勤務の現職専任教員は、1講習あたりの受講料を 5,000円に減免します。

【開講講習】 選択領域

(1 講習 6 時間単位で開講 各講習 1 日で完結)

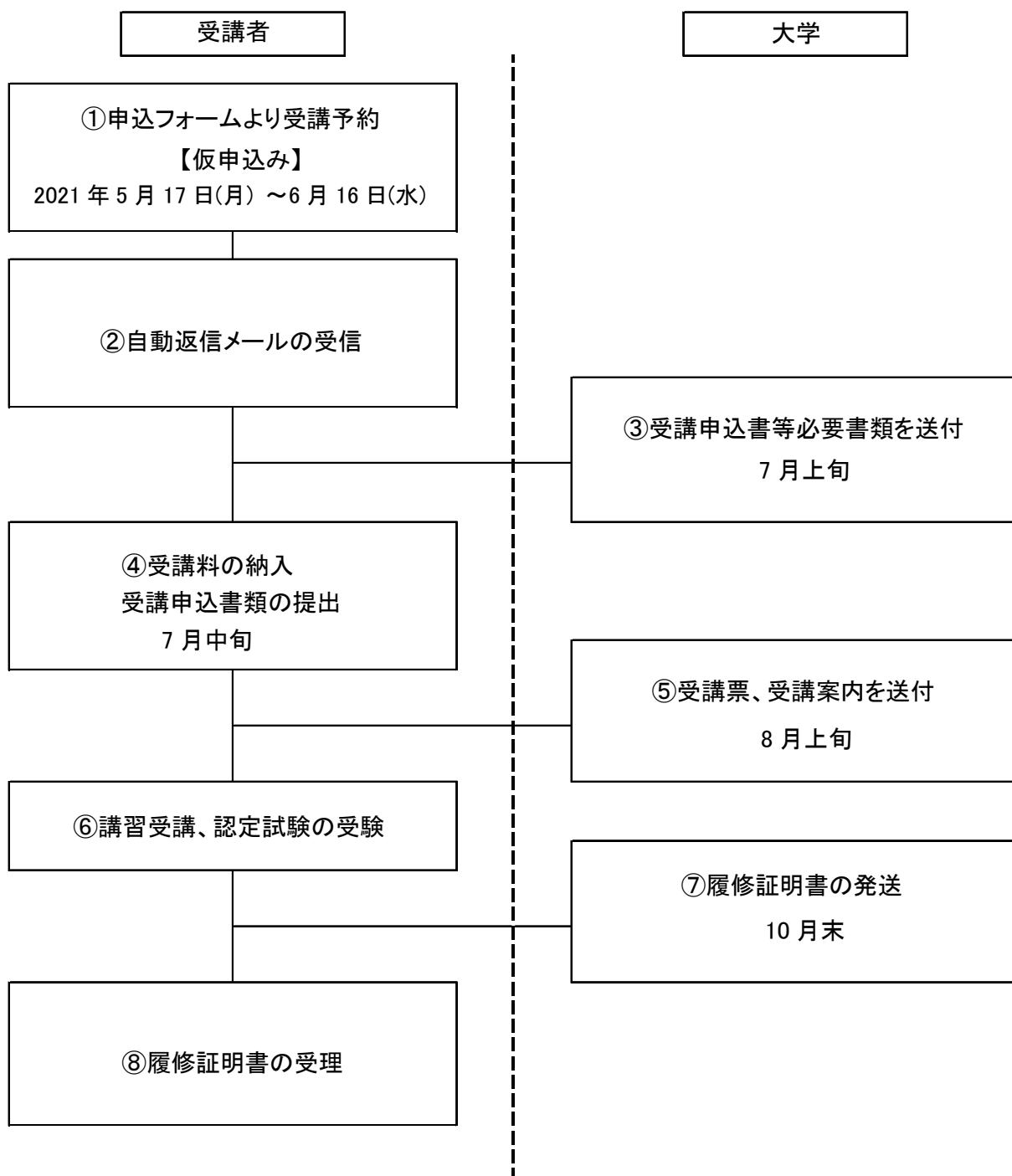
○ 講習一覧

開講日	講習番号	講習名	詳細ページ	履修認定対象職種	主な受講対象者	定員(人)
8/18 (水)	2101	【選択】 言語習得論から見る小学校 外国語教育の理解と授業作り	P.6	教諭	小学校教諭	30
	2102	【選択】 教育の情報化と ICT を活用した 学び	P.7	教諭	小学校・中学校教諭	30
8/19 (木)	2103	【選択】 通常学級における特別支援教育	P.8	教諭	小学校・中学校教諭	30
	2104	【選択】 社会で力を発揮する児童生徒を 育てる特別活動の指導	P.9	教諭	小学校・中学校教諭	30
8/20 (金)	2105	【選択】 体育・保健体育における「主体的・対話的で深い学び」の授業改善	P.10	教諭	小学校教諭・中学校 保健体育科教諭	30
	2106	【選択】 日本書道の歴史と文化	P.11	教諭	小学校・中学校教諭	30

- ※ 同日に開講される講習を重複して申込みことはできませんので、ご注意ください。
- ※ 指定された履修認定職種以外の方が受講しても、時間数に認定されません。
- ※ 「主な受講対象者」をご参照いただき、実際に担当している教科などを踏まえて、講習を選択してください。
- ※ 受講申込者が開講最少人数に満たない場合は、開講を見合わせる場合がありますので、予めご了承ください。

II. 受講申込み

【受講までの流れ】



【受講申込方法】

(1) 仮申込み — 受講予約

2021年5月17日（月）9:00 ～ 6月16日（水）17:00まで

<申込方法>

<https://docs.google.com/forms/d/1UsPRucf8GDqarQuLzuOu3c1Zndd1HI6UaTBkGuwsrJ4/edit>

上記の URL または右の QR コードより申込フォームにアクセスいただき、必要事項を入力の上、送信してください。



お申込み後、申込内容が記載された自動返信メールが届きます。

- ・先着順で受講申込みを受け付けます。定員に達した後も受信はしますが、定員充足の場合は受け付けできない場合がありますので、予めご了承ください。
- ・自動返信メールが届かない場合は、送信が完了していない可能性があります。再度お申込みいただいても届かない場合は、教員免許状更新講習担当（電話 042-678-3663）までお問い合わせください。
- ・申込フォームでのお申込みはあくまで受講予約であり、受講許可となるものではありません。

※ 障害等により受講上特別な配慮を希望される場合には、お申込期間の前に本学までお電話にてご相談ください。できる限りの支援をさせていただきますが、支援内容や施設設備等の関係上、ご希望に添えない場合もありますので、予めご了承ください。

(2) 本申込み — 受講料の納入、受講申込書類の提出

- (1) 受講予約を受け付けた方へ「受講申込書」「事前アンケート」「受講料振込のご案内」をお送りいたします。
- (2) 指定された口座に受講料を納入してください。
- (3) 受講申込書、事前アンケート、写真1枚（受講票用）、身分証明書の写しをお送りください。（本学卒業生およびグループ校勤務者は、別途提出書類有）

※ 振込手数料および書類ご提出の際にかかる通信費は、受講者負担となります。

※ 期日までに受講料の納入および書類の提出がない場合は、受講の意思がないものとみなし、受講資格を取り消させていただきます。

※ 受講申込書の提出後、事情により申込みを取り消される場合は、速やかにご連絡ください。

(3) 受講票の送付

受講料の納入および申込書類の提出が確認できましたら、本学より「受講票」「受講案内」を送付いたします。講習当日必ずご持参ください。

【受講キャンセル】

本申込後、やむを得ず受講をキャンセルする場合は、至急、教員免許状更新講習担当へお電話またはメールにてご連絡ください。

■電話：042-678-3663（受付時間 平日 9:00～17:00）

■メール：koushin@teikyo-u.ac.jp

件名を「更新講習受講キャンセル（受講者の氏名）」としてご連絡ください。

受講料のお取扱いは次のようになります。

2021年8月13日（金）までにキャンセルした場合…受講料から通信費等を差し引いた金額を返金します。

2021年8月14日（土）以降にキャンセルした場合…受講料は返金できません。

- ※ お電話の場合は平日 9 時から 17 時まで、メールの場合は 23 時 59 分までをキャンセル手続き当該日とします。
- ※ 提出いただいたお申込書類等につきましては、返送いたしません。本学にて責任をもって破棄させていただきますので、ご了承ください。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況による本学からの講習日程変更や中止については上記取扱いの限りではなく、別途対応させていただきます。

Ⅲ. 履修認定

講習において、履修認定のための試験を実施します。試験は、講習で扱った内容についての理解や考え方を確認する内容とします。

履修認定の結果については、2021年10月末日までに、各受講生の受講申込書に記載されている連絡先住所宛に郵送いたします。

IV. 講習詳細 （※内容が一部変更になる場合があります。予めご了承ください。）

①講習番号	2101		
②講習名	【選択】言語習得論から見る小学校外国語教育の理解と授業作り		
③担当講師	銘苅 実土（初等教育学科 講師）		
④開講日	8月18日（水）	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>新学習指導要領上の小学校外国語活動・外国語科における目標や内容について、言語習得論の観点から理解を深める。また、言語習得論上効果的だと考えられる言語活動の実施方法や、読み書き導入の留意点など、授業実践に生かせる具体的内容について学ぶ。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション（事務連絡）
	9:00～10:20	講義	言語習得論から見る小学校英語
	10:30～11:50	講義	学習指導要領解説
	11:50～12:50	—	（昼休み）
	12:50～14:10	講義	45分の授業の構成
	14:20～15:40	講義・演習	言語活動・読み書き指導実施のポイント
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書（事後アンケート）	
⑫到達目標	<p>①学習指導要領における外国語活動・外国語の目標について理解し、言語習得論の立場からその背景を説明できる。 ②学習指導要領上の目標達成を目指した効果的な指導方法について、言語習得論を参考に自ら考えることができる。</p>		
⑬連絡事項	履修認定試験は論述形式の筆記試験を予定しています。		
⑭参考文献	<p>・『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省 ・『小学校教師の専門性育成』帝京大学初等教育研究会(著) 現代図書 2020年</p>		

①講習番号	2102		
②講習名	【選択】教育の情報化と ICT を活用した学び		
③担当講師	町支 大祐 (大学院教職研究科 講師)		
④開講日	8月18日(水)	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校・中学校教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>一人一台端末の整備などを始め、教育の情報化が急速に進められている。しかし、こうした ICT はそれぞれのもので質の高い学びを実現できるわけではない。それらを活用しながら教師自身が試行錯誤を重ねていく必要がある。今回の講習は、入門編としてその一助となる機会としたい。</p> <p>教育の情報化の動向やこれからの学習のあり方に関する検討をふまえたうえで、演習等を通じて ICT を活用した学びの実現について考えていく。</p> <p>講習中は、協働的な活動や対話などを行うので、積極的な参加を期待する。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション (事務連絡)
	9:00～10:20	演習	これからの時代に求められる学び
	10:30～11:50	講義	教育の情報化の動向
	11:50～12:50	—	(昼休み)
	12:50～14:10	講義	ICT を活用した学びのあり方
	14:20～15:40	演習	授業における ICT 活用について考える
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書 (事後アンケート)	
⑫到達目標	ICT を活用した学びについて理解し、その実現に向けた授業を構想することができる。		
⑬連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物は、筆記用具のほか、パソコンまたはタブレットなどの端末を持参してください。 ・履修認定試験は、「ICT を活用した学びについて自身の指導を振り返り、本講習にて学んだこと」を論述形式で解答してもらいます。 		
⑭参考文献	適宜紹介する。		

①講習番号	2103		
②講習名	【選択】通常学級における特別支援教育		
③担当講師	村上 香奈（心理学科 准教授）		
④開講日	8月19日（木）	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校・中学校教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>実際の学校現場を見てみると、通常学級に特別な配慮を要すると思われる児童・生徒が複数いるように感じられる。そのため、このような児童・生徒自身が困り感を抱いているだけでなく、教員も悩み考え、試行錯誤をしながら日々の教育にあたっていることが見受けられる。</p> <p>本講座は、発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症）のある児童・生徒だけでなく、教員の困り感が少しでも解消できるよう、まずは発達障害の特徴やこういった障害のある子どもたちが持つ困難さを理解する。そのうえで、実際の学級経営や授業に活かせるような、通常学級で実施可能な支援について検討していく。</p> <p>講義の中では、長年、スクールカウンセラーとして勤務してきた経験から他職種との連携についても触れていきたい。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション（事務連絡）
	9:00～10:20	講義	発達障害のある児童・生徒の困難さを理解する
	10:30～11:50	講義	発達障害のある児童・生徒への支援を理解する
	11:50～12:50	—	（昼休み）
	12:50～14:10	演習	グループワーク
	14:20～15:40	講義	通常学級で実施可能な支援を考える
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書（事後アンケート）	
⑫到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症）のある児童・生徒の困難さを理解することができる。 ・通常学級で実施可能な発達障害のある児童・生徒への支援について理解することができる。 ・本講座で学んだことを持ち帰り、学級経営や授業に活かすことができる。 		
⑬連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれてディスカッションや意見交換を行う予定である。 ・筆記試験（論述）にて到達目標に達しているかを判断する。 		
⑭参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内に紹介する。 		

①講習番号	2104		
②講習名	【選択】社会で力を発揮する児童生徒を育てる特別活動の指導		
③担当講師	佐野 匡（教職センター 准教授）		
④開講日	8月19日（木）	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校・中学校教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>学校教育で身に付けた力を変化する社会の中で発揮していくためには、児童生徒が各教科等で付けた力をはたかせながら主体的な活動を行う特別活動の実践が不可欠である。その活動を通し、往還の関係にある教科の学びも深まっていく。しかし、教科書のない特別活動において教師の経験による指導が行われていたり、自信をもって指導ができなかったりという状況も学校現場にはある。本講義では特別活動の基礎を学び、現在行っている指導の意義の確認をすることで、意図的な指導が行えるようにすることが目的である。</p> <p>グループワークの中では、普段の指導における疑問点や、指導上困っていることなどを出し合い、その改善策を探ることで、特別活動への理解と実際の指導の在り方について深めていく。活動への積極的な参加を期待する。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション（事務連絡）
	9:00～10:20	講義・演習	特別活動の意義
	10:30～11:50	演習	グループワーク
	11:50～12:50	—	（昼休み）
	12:50～14:10	講義・演習	特別活動の指導
	14:20～15:40	演習	グループワーク
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書（事後アンケート）	
⑫到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動の意義を理解し、自身の指導に生かす具体的方法を考えることができる。 		
⑬連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> 履修認定試験は、「特別活動について自身の指導を振り返り、本講習にて学んだこと」を論述形式で解答してもらいます。 		
⑭参考文献	<p>【特別活動編】小学校学習指導要領（平成29年告示）解説</p> <p>【特別活動編】中学校学習指導要領（平成29年告示）解説</p> <p>（自分の校種のもの）</p>		

①講習番号	2105		
②講習名	【選択】体育・保健体育における「主体的・対話的で深い学び」の授業改善		
③担当講師	高田 彬成（教育文化学科 教授）		
④開講日	8月20日（金）	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校教諭、中学校保健体育科教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>平成29年に告示された小学校及び中学校の学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」が示され、各学校において、各教科等の授業改善に向けた推進計画の立案が求められている。</p> <p>本講習は、体育・保健体育の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の在り方について学ぶ。具体的には、児童生徒の発達の段階を踏まえて、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点からどのように授業改善を進めていくことが望ましいかについて整理する。そのうえで、学校種毎にある単元を想定し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の計画を作成するとともに、受講者相互のディスカッションをとおして、本講習の到達目標の達成を図る。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション（事務連絡）
	9:00～10:20	講義	主体的・対話的で深い学びの授業改善について
	10:30～11:50	演習	体育・保健体育の授業改善計画の作成
	11:50～12:50	—	（昼休み）
	12:50～14:10	演習	体育・保健体育の授業改善の推進
	14:20～15:40	発表	体育・保健体育の授業改善推進計画の発表
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書（事後アンケート）	
⑫到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた体育・保健体育の授業改善について、具体例を挙げて論ずることができる。 		
⑬連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物は筆記用具を持参してください。 ・履修認定試験は、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育・保健体育の授業改善について自身の指導を振り返り、本講習にて学んだこと」を論述形式で解答してもらいます。 		
⑭参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領解説 体育編（文部科学省 平成29年7月） ・中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省 平成29年7月） 		

①講習番号	2106		
②講習名	【選択】日本書道の歴史と文化		
③担当講師	中村 健太郎（短期大学人間文化学科 講師）		
④開講日	8月20日（金）	⑤講習時間数	6時間
⑥履修認定対象職種	教諭	⑦主な受講対象者	小学校・中学校教諭
⑧受講予定人数	30人	⑨試験方法	筆記試験
⑩講習内容	<p>書や文字を起点として、関連する日本の文化や歴史に対する視座を獲得することを目指している。</p> <p>本講習は、日本の伝統文化としての書道を多面的に学ぶものである。</p> <p>日本の書道文化は、さまざまな分野を横断する形で傳承されてきた。文字を書き記すという、実用面での表記法としての発展や、書風の特徴や差異に注目した鑑賞、文字や書に仮託した信仰や道徳など、多くの事例を挙げることができる。近代以降、芸術と教育の面が強く再認識され、現代につながる書芸術と書教育に大別された日本書道を、歴史と伝統文化の視座から再検討することを目的とする。</p>		
⑪時間割	時間	講習形態	内容
	8:50～9:00	—	オリエンテーション（事務連絡）
	9:00～10:20	講義	「日本の書道文化—優れた書とは何か—」
	10:30～11:50	演習	グループディスカッション
	11:50～12:50	—	（昼休み）
	12:50～14:10	講義	「伝統文化としての書道—伝授の思想—」
	14:20～15:40	演習	グループディスカッション
	15:50～16:30	試験	履修認定試験
16:30～16:40	—	受講者評価書（事後アンケート）	
⑫到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本書道に見られる書芸術や書教育以外の書道文化について、説明することができる。 ・現代における伝統文化としての日本書道について説明することができる。 		
⑬連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具、ノート、作品模写に必要となる鉛筆（硬筆用4B～6Bが最適だがこれ以外でも可）を持参して下さい。毛筆技能の修得や向上が直接の目的ではないので、書道用具（毛筆・硯・墨汁・半紙など）は不要です。 ・履修認定試験は、講習で取り上げた内容から論述形式で回答してもらいます。 		
⑭参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・『「書」の秘伝—入木道の古典を読む』新井栄蔵著 平凡社 ・『書の総合事典』井垣清明ほか編著 柏書房 		

V. その他

【本学へのアクセス】

駐車場はありませんので、講習会場へは公共交通機関をご利用ください。

京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」より

- 京王バス 2 番のりば：帝京大学構内行 16 分、終点下車

京王線「高幡不動駅」より

- 京王バス 1 番のりば：帝京大学構内行 13 分、終点下車

京王相模原線、小田急多摩線「多摩センター駅」より

- 京王バス 4 番のりば：帝京大学構内行 18 分、終点下車

多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」

- 徒歩約 15 分

【お問い合わせ先】

帝京大学八王子キャンパス・帝京大学短期大学

総務・企画グループ 教員免許状更新講習担当

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 番地

TEL：042-678-3663 FAX：042-678-3538 （平日：9:00～17:00）

E-mail：koushin@teikyo-u.ac.jp